

免疫チロシン阻害薬 副作用対応連携シート					
副作用	主な自覚症状	検査項目	ヘースライン (投与開始時) ○実施	モニタリングの目安	専門医へのコンサルトのタイミング
		胸部X線 胸部CT KL-6 SP-D TSH・FT3・FT4 抗チログロリアン抗体 抗TPO抗体 TSHレセプター抗体 iPTH ACTH コルチゾール	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		
間質性肺炎	発熱、空咳、息苦しい、息切れ		○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	投与時 疑い時 2か月毎に2回	左記の自覚症状発現の場合、左記検査項目の異常が認められた場合には、直ちに相談ください。
内分泌障害 内分泌障害	甲状腺機能低下症：身体がだるい、体重増加、徐脈、便秘、食欲低下など 甲状腺機能亢進症：汗をかきやすい、体重が減る、甲状腺のはれ、胸がドキドキする、手の震え、不眠、発熱、下痢、振戦、食欲低下 副腎機能不全：身体がだるい、意識がうすれる、考えがまとまらない、嘔吐、むくみがある、食欲不振、低血圧、脱力感 副甲状腺機能低下症：手足の筋肉の痙攣、手足口の周りのしびれ		○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	【甲状腺】 症状出現（倦怠感や動悸など）、TSH・FT3・FT4に異常が認められた際、TSHレセプター抗体、抗チログロリアン抗体、抗TPO抗体を1回測定し、自己抗体陽性で症状発現時はコンサルト 【副腎】 ACTH・コルチゾールを測定した際、コルチゾール低値の場合にコンサルト
大腸炎 重度の下痢	下痢（軟便）もしくは通常よりも頻回の便通、血便もしくは黒くタール便で粘着質の便、重度の腹部痛もしくは圧痛	排便回数 腹部CT 大腸内視鏡検査 CPK AChR抗体	○ - ○ ○ -	投与時 疑い時 投与時 疑い時 疑い時	Grade2以上の下痢、便回数の増加が認められた場合（ヘースラインと比べ4～6回/日以上）の排便回数増加） 腹痛・下血・便失禁・発熱に特に注意
重症筋無力症 筋炎	重症筋無力症：上まぶたが下がる、物がだぶつて見える、飲み込みにくい、しゃべりにくい、呼吸困難 筋炎：身体に力が入らない、発熱、飲み込みにくい、息苦しい、発疹、筋肉の痛み	HbA1c グリコアルブミン 血糖 検尿（尿ケトン体） Cペプチド	○ ○ ○ ○ -	月1回 疑い時 投与時 疑い時 疑い時	目が下がってくる（眼瞼下垂） 飲み込みにくい（嚥下障害） 症状発現時 あるいは、CPK1000IU/L以上の場合にコンサルト
1型糖尿病	糖尿病：身体がだるい、体重減少、のどの渇き、水を多く飲む、尿の量が増える 糖尿病性ケトアシドーシス：意識の低下、悪心、嘔吐、腹痛	AST ALT γ-GTP ALP T-Bil D-Bil LDH HBs抗体・HBe抗体 HCV抗体	○ ○ ○ ○ ○	投与時 投与時 感染歴がある方は3か月毎にDNA量を測定	左記の自覚症状の発現、又はGrade2以上の肝機能障害が認められた場合にコンサルト
肝障害	倦怠感、黄疸、嘔吐・嘔気、食欲不振、そう痒感	PT APTT フィブリノーゲン 心筋トロポニンT NTproBNP Dダイマー FDP 心エコー 心電図	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	左記の自覚症状の発現、又は検査値の異常時にコンサルト
心血管障害	心不全、心筋炎、心房細動、深部静脈血栓	Na K Cl Ca P TP ALB UA AMY BUN Cr 血球算定（CBC） バイタルサイン	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	左記の自覚症状の発現、又は検査値の異常時にコンサルト
眼障害	充血、霧視、羞明、眼痛		○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	左記の自覚症状の発現した場合にコンサルト
その他			○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	左記の自覚症状の発現した場合にコンサルト
※検査オーダーは検査セクト、統合セクトを作成していますので、そちらより使用してください					
死亡例が報告されています。早めに専門医へのコンサルトをお願いします					